科学研究費助成事業 研究成果報告書

令和 6 年 9 月 2 7 日現在

機関番号: 14301

研究種目: 挑戦的研究(萌芽)

研究期間: 2018~2023

課題番号: 18K19675

研究課題名(和文)障害者から学ぶ"エイジング・イン・プレイス"の秘訣:ミクストメソッド研究

研究課題名(英文)The secret to "Aging in Place" learned from people with disabilities: Mixed

method research

研究代表者

岩隈 美穂 (Miho, Iwakuma)

京都大学・医学研究科・准教授

研究者番号:60512481

交付決定額(研究期間全体):(直接経費) 4,500,000円

研究成果の概要(和文):アンケート結果から、二次障害に対する知識は、「よく知らない」が45.7%、「二次障害があると思う」と回答した人は、52.1%であった。ピアサポートに関しては、求める情報の違いによって相談する相手を選択している可能性や、医療者とは違うピアに期待されている役割が考えられた。インタビュー調査では、「横のつながり」と「縦のつながり」が抽出され、ピアを通じて実践知を形成していた。エイジングプレイスの秘訣としては、介助してもらう経験を(障害を持つ前に)する、介助のされ方、介助者との付き合い方、「迷惑をかけない」教(健常者が持つ「迷惑をかける」ことへの恐れ・嫌悪感)に気づく、などのアドバイスが語られた。

研究成果の学術的意義や社会的意義 日本のみならず世界が高齢化へ向かっている中、これまでは「高齢期になって障害をもつ」人口(障がい高齢 者)に注目がされがちだった。しかし医療技術の発達などから「障害を持ちながら高齢期を迎える人たち」(高 齢障がい者)も増えてきている。近年、エイジングプレイスという言葉が使われるようになったが、その言葉が 作られる前から、障害があっても地域で暮らす人たちは、「要介護状態になっても地域で豊かに暮らす」工夫を 重ねている。彼ら・彼女たちからエイジングプレイスの秘訣を学び、社会のリソースとすることが本研究の社会 的意義といえる。

研究成果の概要(英文): The results of the questionnaire showed that 45.7% of respondents said they did not know much about secondary disabilities, and 52.1% responded that they thought they had a secondary disability. Regarding peer support, it is possible that people choose who they consult with depending on the information they seek, and that peers are expected to play a different role than medical professionals.

In the interview study, `horizontal connections' and `vertical connections' were extracted, and practical knowledge was formed through peers. The secret to an aging place given by people with disabilities who have lived in communities is to have the experience of receiving assistance (before you become disabled), how to receive assistance, how to interact with the caregiver, and awareness towards "not cause trouble" fear that the non-disabled have.

研究分野: ヘルスコミュニケーション

キーワード: 障がい者 高齢化 エイジングプレイス ピアサポート

科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等に ついては、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属します。

1.研究開始当初の背景

・インターネットを使う障がい者は年々増えており、利用目的としては、「知りたいことを調べるため」が障害別、性別にかかわらず上位を占めている(総務省 情報通信政策研究所、2012)。知りたいことを調べる方法の一つとして、インターネット上のQ&Aサイトで質問を投稿し見知らぬ人から回答を得るユーザー生成メディア(CGM: Consumer generated media)がある。「Yahoo知恵袋」はそのCGMの一つで、利用者同士が知恵を出し合う互助の場として機能している。外出への制約が多い障がい者の場合、障害に関する集合知はインターネットに蓄積されている可能性が高いが、CGMの内容まで踏み込んだ研究はこれまでなかった。

・超高齢化社会のわが国において、近年"エイジング・イン・プレイス(AIP):住み慣れた地域で(たとえ要介護状態になっても)豊かに年を重ねる"という言葉がよく聞かれる。エイジング・イン・プレイスは「地域包括ケア」や「アクティブ・エイジング(活動的な高齢化)」のコアとなる概念のひとつである(厚生労働省、2014)。地域生活を長年行っている障がい者たちは、試行錯誤しながらコミュニティで「障害との共生」を実践してきたAIPの先駆者たちと言えるが、**障がい者からAIPの秘訣を学ぶ、という発想**はこれまでなかったため、本研究を実施した。

2.研究の目的

本研究では地域で暮らす障がい者(特に重度身体障がい者)の<u>"エイジング・イン・プレイス(Aging in place:「住み慣れた地域で豊かに年を重ねる」)"</u>に関する知恵や工夫を以下のミクストメソッド方法で調査した。

- 1.インターネットQ&Aサイト「Yahoo知恵袋」に投稿された障害当事者たちによる生活や暮らしに関する質問・回答内容を計量テキスト分析によって、障害を持ちながら生活する「集合知」を量的に調査する。
- 2. 地域で暮らす障害当事者たちの"エイジング・イン・プレイス(Aging in place: AIP)"の工夫や知恵をインタビューを通して質的に調査する。

3.研究の方法

本研究では、質的調査と量的調査を交互に組み合わせ妥当性を高めるミクストメソッド方法(混合研究法)を用いた。

4. 研究成果

当初の予定としては、Yahoo知恵袋データを使用する予定だったが、内容を確認してみると、高齢化についての投稿がほとんどなかったので、インタビューに加えて、脊損者にアンケート調査を行い、最終年度では、特に加齢やエイジングインプレイスに深い関連がある、二次障害やピアサポートについて着目し、インタビューやアンケート結果をまとめた。

研究協力者の背景は、男性が80.2%、年齢の平均値は61.7歳、受傷後経過年数は30.4年、受傷部位は、頚髄432名(47.9%)、胸髄351名(39.0%)、腰髄118名(2.8%)、麻痺の状態は四肢麻痺433名(48.2%)、対麻痺465名(51.8%)であった。アンケート結果から、エイジングが障害のためより早く感じられる二次障害に対する知識は、「具体的な内容まで知っている」が15.4%、「言葉は聞いたことがあるが、内容までは知らない」が38.9%、「よく知らない」が45.7%と半数近くを占めた。また「二次障害があると思う」と回答した人は、52.1%であった。

また、ピアサポートに関しては、排泄管理の指導・アドバイスにおいて(食事や水分補給、活動レベル、薬物治療、排泄ケア、排泄用具使い方、失禁時の対応の仕方、その他)、すべての項目でピアを含めた非医療職より医療専門職から指導やアドバイスを多く受けていることが分かった。一方で非専門職との医学的知識量の違いが出やすい「薬物治療」に対し、実践的な対応が求められる「失禁時の対応」ではその割合の差の大きさはかなり異なっており、求める情報の違いによって相談する相手を選択している可能性を検討するため、非医療者からのアドバイスに焦点を当てて「失禁時の対応」と比較した二次解析を行った。

結果として「失禁時の対応の仕方」はほかの項目と比較して、非医療者からのアドバイスの割合が多く、実践的な情報に関しては非医療者を相談者として選択していることが明らかになった。また有意差はなかったが「食事や水分」「活動レベル」「排泄ケア」の点推定値や95%信頼区間は概ね似ており、「薬物治療」や「排泄用具の使い方」と比べると、非医療者に相談する傾向があるといえる。一方で、だれにも排泄管理について指導やアドバイスを受けていない人たちも一定数いることがわかった。

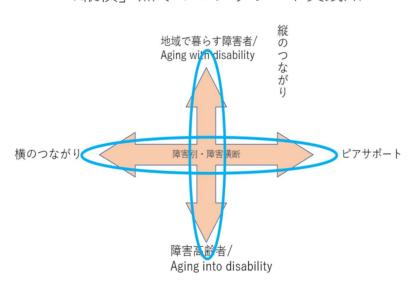
次にインタビュー調査から、「横のつながり」と「縦のつながり」が抽出され(概念図)、ピアのコミュニケーションを通じて障がい者同士の「横の」実践知を形成していることが明らかになった。加えて

これから高齢になって障害をもつ障害高齢者たちに対して、介助してもらう経験を(障害を持つ前に)する、介助のされ方、介助者との付き合い方、「迷惑をかけない」教(健常者が持つ「迷惑をかける」ことへの恐れ・嫌悪感)に気づく、などのアドバイスが語られた。以下にインタビューデータから各テーマについて、抜粋する。

【介助してもらう経験を(障害を 持つ前に)する】

常々私は「絶対にみんな健常者

概念図: 「縦横|無尽のピアサポート実践知



の頃から、今から人にそうやって介助してもらう体験をしておいたほうがいいって」って結構いうんです。

【介助のされ方】

A:通り歩いてて、段差乗り越えられなきゃ手伝ってって言うし、お店で何か困れば「おぼん貸して。 食べやすくなるから」とか。何でも頼むよ。その場で。

Q:そのとき、頼みやすい人って何となくいますか? 道端で。

A: それはだいたい彼女連れて歩いてる男性はカッコいいとこ見せたいから必ず手伝うし、とか。そういう合理的な観察能力じゃないか。

Q:1人じゃなくて誰かと連れ立ってる人のほうが頼みやすい。 A:うん、そりゃそうだ。

【介助者との付き合い方】

A:ヘルパーは女中さんじゃないっていうことだよな。人格、人権を尊重して、お願いしないといけないっていうことが1つだよな・・・関係性を維持しながら、使っていくっていうふうなことが必要なんだけど。そういうコツをなかなかつかむまである意味時間がかかるよね・・・向こうが気付いて先回りしてやってくれるのもいるけど、先回りは止めてくれって頼んだりもする。明快に相手に自分の意思を伝えるっていうのやってかないと、破綻するよな。

【「迷惑をかけない」教(健常者が持つ「迷惑をかける」ことへの恐れ・嫌悪感)に気づく】

A: 健常者のときほど結構強かったと思うんですよね、「人に迷惑を掛けたらあかん」っていうこと…。 (障害を持ち)自立生活を始める前は…障害学界隈のことは、何年かいろいる目にしたり読んだり 調べたりはしていた・・。多分そっちの(障害学が提唱している)生き方のほうがいいなって……健 常者の頃「人のお世話になることはもうダメた、迷惑をかけてはダメだ」って感じで障害をもって生きるのは本当に無理やわってだいぶ思っていた

「医療専門家」というと、大学で学位を取得したり専門機関でトレーニングを受けたりした専門知識を有した人たちを思い浮かべ、患者や障害当事者たちは、通常医療の消費者、サービスの受益者と考えられている。しかし長年障害と共生しながら地域で暮らしている障がい者たちは、AIPの先駆者として「実践知」を蓄えており、これから高齢になって障害をもつ高齢障がい者に対して、多くの示唆を与え得る可能性が示唆された。

今後については、医療者とピアサポーターが担うケア役割の仕組みや違いについての研究、あるいはピアが入ったケアチームのコミュニケーションについての研究が考えられる。また保健医療分野でのピアサポートと教育といった多領域でのピアサポートとの比較調査は、ピアサポートの汎用性や共通項を明らかにできるだろう。さらにこれまで暗黙知とされてきたピアサポートの実践知について明示化し深める必要がある。厚生労働省は同病者によるピアサポートを障害福祉分野に取り入れようと、令和3年度からピアサポート体制加算が新設された。ピアサポーターの役割を明らかにすることで、医療現場におけるピアによるサポートの更なる広がりが期待できる。

日本のみならず世界が高齢化へ向かっている中、これまでは「高齢期になって障害をもつ」人口 (障がい高齢者)に注目がされがちだった。しかし医療技術の発達などから「障害を持ちながら高齢期を迎える人たち」(高齢障がい者)も増えてきている。近年、エイジングプレイスという言葉が使われるようになったが、その言葉が作られる前から、障害があっても地域で暮らす人たちは、「要介護状態になっても地域で豊かに暮らす」工夫を重ねてきている。彼ら・彼女たちからエイジングプレイスの秘訣を学び、社会のリソースとすることが本研究の社会的意義といえる。

本研究の成果は、論文(8本)、分担執筆図書(3本)、発表(13本、うち招待講演6本)で報告された(予定含む)。

5 . 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計13件(うち査読付論文 10件/うち国際共著 2件/うちオープンアクセス 2件)

〔雑誌論文〕 計13件(うち査読付論文 10件/うち国際共著 2件/うちオープンアクセス 2件)	
1.著者名 岩隈美穂,大濱眞,加藤真介	4.巻 37
2.論文標題 「脊損者のアンケート回答手段と背景との関連についての報告」	5 . 発行年 2024年
3.雑誌名 日本脊髄障害医学会誌	6.最初と最後の頁
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1.著者名 岩隈美穂,大濱眞,加藤真介	4.巻 37
2.論文標題 「脊損者の再生医療での改善希望と便失禁についての報告:アンケート調査による第1報」	5 . 発行年 2024年
3.雑誌名 日本脊髄障害医学会誌	6.最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1 . 著者名 Cervantee E.K. Wild, Maria Ines Gandolfo Conceicao, Miho Iwakuma, Sasha Lewis-Jackson, Rie Toyomoto, Alicia Regina Navarro Dias de Souza, Vinita Mahtani-Chugani, Rika Sakuma Sato, Tanvi Rai,	4.巻 Volume 4
2.論文標題 Perceptions of government guidance and citizen responses during the COVID-19 pandemic: A cross-country analysis	5 . 発行年 2023年
3.雑誌名 Qualitative Research in Health	6.最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1016/j.ssmqr.2023.100308	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1.著者名 岩隈美穂	4.巻 28(2)
2.論文標題 「障害とともに年を取ること、年を取って障害とともにいきること」	5 . 発行年 2024年
3.雑誌名 老年看護	6.最初と最後の頁 9-13
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著

1.著者名	4 . 巻
Sakai, E., Yamada, T., Funaki, T., Iwakuma, M., et al.	14(3)
2 . 論文標題	5 . 発行年
	2023年
Fundamental knowledge taught in compulsory education for effective genetic counseling: a	2023 年
qualitative study of descriptions in textbooks	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
J Community Genet	263-274
	200 21 1
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	木柱の左無
	査読の有無
10.1007/s12687-023-00641-3	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	_
コランプランスにはない、人はカランプランスの四無	
. ###	. 14
1.著者名	4 . 巻
岩隈美穂	32
2 . 論文標題	5.発行年
障害当事者とのコミュニケーション:社会のリソースとしての実践知を生かす	2023年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
- ・ ・ーーーー ロー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	63 - 73
コーユーノ ノコノ WI ルロム成ノロノ フコノノヘ	00 - 10
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
	~~~
	国際共著
=	<b>当际六百</b>
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1 . 著者名	4 . 巻
岩隈美穂,大濱眞,加藤真介	36
'AIK不'心,八/哀髡,	55
7)	F 38/-/-
2 . 論文標題	5 . 発行年
損傷者の身体の悩みの内容と行政への期待についての報告:第一報.	2023年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
日本脊髓障害医学会誌	180-181
 	 │ 査読の有無
	_
   掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)   なし	   査読の有無   有
なし	有
なし オープンアクセス	_
なし	有
なし オープンアクセス	有
なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名	有 国際共著 - 4.巻
なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名	有 国際共著 - 4.巻 36
なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 岩隈美穂,大濱眞,加藤真介	有 国際共著 - 4.巻
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 岩隈美穂,大濱眞,加藤真介 2.論文標題	有 国際共著 - 4.巻 36 5.発行年
なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 岩隈美穂,大濱眞,加藤真介	有 国際共著 - 4.巻 36
なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 岩隈美穂, 大濱眞, 加藤真介  2 . 論文標題 脊髄損傷者の身体の悩みと3つの時間軸との関連についての報告:第2報.	有 国際共著 - 4.巻 36 5.発行年 2023年
なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 岩隈美穂, 大濱眞, 加藤真介  2 . 論文標題 脊髄損傷者の身体の悩みと3つの時間軸との関連についての報告:第2報. 3 . 雑誌名	有 国際共著 - 4 . 巻 36 5 . 発行年 2023年 6 . 最初と最後の頁
なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 岩隈美穂, 大濱眞, 加藤真介  2 . 論文標題 脊髄損傷者の身体の悩みと3つの時間軸との関連についての報告:第2報.	有 国際共著 - 4.巻 36 5.発行年 2023年
なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 岩隈美穂, 大濱眞, 加藤真介  2 . 論文標題 脊髄損傷者の身体の悩みと3つの時間軸との関連についての報告:第2報. 3 . 雑誌名	有 国際共著 - 4 . 巻 36 5 . 発行年 2023年 6 . 最初と最後の頁
なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 岩隈美穂, 大濱眞, 加藤真介  2 . 論文標題 脊髄損傷者の身体の悩みと3つの時間軸との関連についての報告:第2報. 3 . 雑誌名	有 国際共著 - 4 . 巻 36 5 . 発行年 2023年 6 . 最初と最後の頁
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 岩隈美穂, 大濱眞, 加藤真介  2 . 論文標題 脊髄損傷者の身体の悩みと3つの時間軸との関連についての報告:第2報。  3 . 雑誌名 日本脊髄障害医学会誌	有 国際共著 - 4 . 巻 36 5 . 発行年 2023年 6 . 最初と最後の頁 182-184
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 岩隈美穂, 大濱眞, 加藤真介  2 . 論文標題 脊髄損傷者の身体の悩みと3つの時間軸との関連についての報告:第2報.  3 . 雑誌名 日本脊髄障害医学会誌  曷載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	有 国際共著 - 4 . 巻 36 5 . 発行年 2023年 6 . 最初と最後の頁 182-184
なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 岩隈美穂, 大濱眞, 加藤真介  2 . 論文標題 脊髄損傷者の身体の悩みと3つの時間軸との関連についての報告:第2報。  3 . 雑誌名 日本脊髄障害医学会誌	有 国際共著 - 4 . 巻 36 5 . 発行年 2023年 6 . 最初と最後の頁 182-184
なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 岩隈美穂, 大濱眞, 加藤真介  2 . 論文標題 脊髄損傷者の身体の悩みと3つの時間軸との関連についての報告:第2報 .  3 . 雑誌名 日本脊髄障害医学会誌  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	有 国際共著 - 4 . 巻 36 5 . 発行年 2023年 6 . 最初と最後の頁 182-184
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 岩隈美穂, 大濱眞, 加藤真介  2 . 論文標題 脊髄損傷者の身体の悩みと3つの時間軸との関連についての報告:第2報 .  3 . 雑誌名 日本脊髄障害医学会誌  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	有 国際共著 - 4 . 巻 36 5 . 発行年 2023年 6 . 最初と最後の頁 182-184 査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 岩隈美穂, 大濱眞, 加藤真介  2 . 論文標題 脊髄損傷者の身体の悩みと3つの時間軸との関連についての報告:第2報.  3 . 雑誌名 日本脊髄障害医学会誌	有 国際共著 - 4 . 巻 36 5 . 発行年 2023年 6 . 最初と最後の頁 182-184

Miho Iwakuma, Takuya Aoki, and Mariko Morishita  2 . 論文標題 Patient experience (PX) among individuals with disabilities in Japan: a mixed-methods study.  5 . 発行年 2022年  3 . 雑誌名 BMC Primary Care  掲載論文のDDI (デジタルオプジェクト識別子) なし  1 . 著者名 Morishita, Mariko; Iwakuma, Miho.  2 . 論文標題 Diffusion of Innovations from the West and Their Influences on Medical Education in Japan.  3 . 雑誌名 Oxford Research Encyclopedia of Communication  4 . 巻 Oxford Research Encyclopedia of Communication  1 . 著者名 上野悦子・岩隈美穂  1 . 著者名 上野悦子・岩隈美穂  2 . 論文標題 地域共生社会の人材育成とS D H教育に活用可能な「地域に根差したインクルーシブな開発」 (Community-based Inclusive Development: CBID) の概念とその応用例の紹介 (CBID Table CBID Tab		
2 : 論文標題 Patient experience (PX) among individuals with disabilities in Japan: a mixed-methods study. 5 . 発行年 2022年 3 . 練読名	1.著者名	4.巻
2 : 論文標題 Patient experience (PX) among individuals with disabilities in Japan: a mixed-methods study. 5 . 発行年 2022年 3 . 練読名		23
Patient experience (PX) among individuals with disabilities in Japan: a mixed-methods study.  3. 結話名 BBC Prinary Care		
Patient experience (PX) among individuals with disabilities in Japan: a mixed-methods study.  3. 結話名 BBC Prinary Care	그 · 스스·ナ································	F 28/=/=
3 : 村部名 8BIC Primary Care	······	
語歌論文の001(デジタルオブジェクト識別子)	Patient experience (PX) among individuals with disabilities in Japan: a mixed-methods study.	2022年
語歌論文の001(デジタルオブジェクト識別子)		
語歌論文の001(デジタルオブジェクト識別子)	3 雑誌名	6 最初と最後の百
指数節文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) を読め 有		○ . 取房已取及の具
なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1. 著名名 Morishita, Mariko; Iwakuma, Miho. 2. 論文標題 Diffusion of Innovations from the West and Their Influences on Medical Education in Japan. 3. 雑誌名 Oxford Research Encyclopedia of Communication    大き	BMC Primary care	-
なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1. 著名名 Morishita, Mariko; Iwakuma, Miho. 2. 論文標題 Diffusion of Innovations from the West and Their Influences on Medical Education in Japan. 3. 雑誌名 Oxford Research Encyclopedia of Communication    大き		
なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1. 著名名 Morishita, Mariko; Iwakuma, Miho. 2. 論文標題 Diffusion of Innovations from the West and Their Influences on Medical Education in Japan. 3. 雑誌名 Oxford Research Encyclopedia of Communication    大き		
なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1. 著名名 Morishita, Mariko; Iwakuma, Miho. 2. 論文標題 Diffusion of Innovations from the West and Their Influences on Medical Education in Japan. 3. 雑誌名 Oxford Research Encyclopedia of Communication    大き	掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
1 . 著名名		
### ### #############################	4 U	THE PROPERTY OF THE PROPERTY O
### ### #############################		
1 ・著名名 Morishita, Mariko; Iwakuma, Miho.  2 ・論文標題 Diffusion of Innovations from the West and Their Influences on Medical Education in Japan.  3 ・雑誌名 Oxford Research Encyclopedia of Communication  6 ・最初と最後の頁 Cxford Research Encyclopedia of Communication  7 ・ 最初論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし  1 ・著名名 上野悦子・岩間美穂  2 ・論文標題 地域共生社会の人材育成とSDH教育に活用可能な「地域に根差したインクルーシブな開発」 (Community-bassed Inclusive Development: C8ID) の概念とその応用例の紹介  8 ・ 最初に最後の頁 668 ・ 677  「複数論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス  1 ・著名名 Ixakuma, M., Miyamoto, K., & Murata, J.  2 ・論文標題 C ・論文標題 トープンアクセス  1 ・著名名 Ixakuma, M., Miyamoto, K., & Murata, J.  2 ・論文標題 C ・ 論文標題 C ・ 自然の有無 Email	オーフンアクセス	国際共者
1 ・著名名 Morishita, Mariko; Iwakuma, Miho.  2 ・論文標題 Diffusion of Innovations from the West and Their Influences on Medical Education in Japan.  3 ・雑誌名 Oxford Research Encyclopedia of Communication  6 ・最初と最後の頁 Cxford Research Encyclopedia of Communication  7 ・ 最初論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし  1 ・著名名 上野悦子・岩間美穂  2 ・論文標題 地域共生社会の人材育成とSDH教育に活用可能な「地域に根差したインクルーシブな開発」 (Community-bassed Inclusive Development: C8ID) の概念とその応用例の紹介  8 ・ 最初に最後の頁 668 ・ 677  「複数論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス  1 ・著名名 Ixakuma, M., Miyamoto, K., & Murata, J.  2 ・論文標題 C ・論文標題 トープンアクセス  1 ・著名名 Ixakuma, M., Miyamoto, K., & Murata, J.  2 ・論文標題 C ・ 論文標題 C ・ 自然の有無 Email	オープンアクセスとしている(また、その予定である)	該当する
Morishita, Mariko; Iwakuma, Miho.  2. 油液水標題 Diffusion of Innovations from the West and Their Influences on Medical Education in Japan.  3. 雑誌名 Oxford Research Encyclopedia of Communication  描載論文の201(デジタルオプジェクト識別子) なし  1. 著名名 上野悦子・岩隅美穂  2. 油菜水標題 地域大生社会の人材育成とSDH教育に活用可能な「地域に根差したインクルーシブな開発」 (Community-based Inclusive Development: CBID)の概念とその応用例の紹介  3. 雑誌名 区学教育  6. 最初と最後の頁 669 - 677  「表現の有無 無 オープンアクセス  国際共著  4. 巻 51  5. 発行年 2020年  6. 最初と最後の頁 669 - 677  「表現の有無 無 オープンアクセス  国際共著  1. 著名名 Iwakuma, M., Miyamoto, K., & Murata, J.  2. 油菜根題 「地域本標題 大ープンアクセス  国際共著  1. 著名名 Iwakuma, M., Miyamoto, K., & Murata, J.  2. 油菜根題 Changes in perceptions of Japanese university students toward disability: A mixed methods study.  3. 秘誌名 International Journal of Disability, Development & Education  「表現が表現の方法」 「表現が表現しませんであれる」 「表現が表現しませんであれる。」 「表現が表現しませんであれる。」 「表現が表現しませんであれる。」 「表現が表現しませんであれる。」 「表現が表現しませんであれる。」 「表現が表現しませんであれる。」 「表現が表現しませんであれる。」 「表現		
Morishita, Mariko; Iwakuma, Miho.  2. 油液水標題 Diffusion of Innovations from the West and Their Influences on Medical Education in Japan.  3. 雑誌名 Oxford Research Encyclopedia of Communication  描載論文の201(デジタルオプジェクト識別子) なし  1. 著名名 上野悦子・岩隅美穂  2. 油菜水標題 地域大生社会の人材育成とSDH教育に活用可能な「地域に根差したインクルーシブな開発」 (Community-based Inclusive Development: CBID)の概念とその応用例の紹介  3. 雑誌名 区学教育  6. 最初と最後の頁 669 - 677  「表現の有無 無 オープンアクセス  国際共著  4. 巻 51  5. 発行年 2020年  6. 最初と最後の頁 669 - 677  「表現の有無 無 オープンアクセス  国際共著  1. 著名名 Iwakuma, M., Miyamoto, K., & Murata, J.  2. 油菜根題 「地域本標題 大ープンアクセス  国際共著  1. 著名名 Iwakuma, M., Miyamoto, K., & Murata, J.  2. 油菜根題 Changes in perceptions of Japanese university students toward disability: A mixed methods study.  3. 秘誌名 International Journal of Disability, Development & Education  「表現が表現の方法」 「表現が表現しませんであれる」 「表現が表現しませんであれる。」 「表現が表現しませんであれる。」 「表現が表現しませんであれる。」 「表現が表現しませんであれる。」 「表現が表現しませんであれる。」 「表現が表現しませんであれる。」 「表現が表現しませんであれる。」 「表現	4 ***	4 244
2 . 論文標題 Diffusion of Innovations from the West and Their Influences on Medical Education in Japan.  3 . 雑誌名 Oxford Research Encyclopedia of Communication  信 . 最初と最後の頁		4 . を
Diffusion of Innovations from the West and Their Influences on Medical Education in Japan.  2022年 3.雑誌名 Oxford Research Encyclopedia of Communication  信義の有無 有 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 上野悦子・岩隅美穂  2.論文標題 地域共生社会の人材育成とSDH教育に活用可能な「地域に根差したインクルーシブな開発」 (Community-based Inclusive Development: CBID)の概念とその応用例の紹介 SE学教育  経験の可能 を受教育  2.最初と最後の頁 669・677  撮戦論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 「地域に収象、M., Miyamoto, K., & Murata, J. 2.論文標題 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	Morishita, Mariko; Iwakuma, Miho.	-
Diffusion of Innovations from the West and Their Influences on Medical Education in Japan.  2022年 3.雑誌名 Oxford Research Encyclopedia of Communication  信義の有無 有 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 上野悦子・岩隅美穂  2.論文標題 地域共生社会の人材育成とSDH教育に活用可能な「地域に根差したインクルーシブな開発」 (Community-based Inclusive Development: CBID)の概念とその応用例の紹介 SE学教育  経験の可能 を受教育  2.最初と最後の頁 669・677  撮戦論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 「地域に収象、M., Miyamoto, K., & Murata, J. 2.論文標題 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		
Diffusion of Innovations from the West and Their Influences on Medical Education in Japan.  2022年 3.雑誌名 Oxford Research Encyclopedia of Communication  信義の有無 有 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 上野悦子・岩隅美穂  2.論文標題 地域共生社会の人材育成とSDH教育に活用可能な「地域に根差したインクルーシブな開発」 (Community-based Inclusive Development: CBID)の概念とその応用例の紹介 SE学教育  経験の可能 を受教育  2.最初と最後の頁 669・677  撮戦論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 「地域に収象、M., Miyamoto, K., & Murata, J. 2.論文標題 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2. 绘文価語	5
3 ・雑誌名		
Cxford Research Encyclopedia of Communication   -	Diffusion of Innovations from the West and Their Influences on Medical Education in Japan.	2022年
Cxford Research Encyclopedia of Communication   -		
Cxford Research Encyclopedia of Communication   -	3. 雑誌名	6 最初と最後の百
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)		- · 4X 1/1 — 4X 1X V/ X
### おープンアクセス    1 著者名	oxidia research encyclopedia of communication	-
### おープンアクセス    1 著者名		
### おープンアクセス    1 著者名		
### おープンアクセス    1 著者名	掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
オープンアクセス       国際共著         1 . 著者名 上野悦子・岩隈美穂       4 . 巻 51         2 . 論文標題 地域共生社会の人材育成とSDH教育に活用可能な「地域に根差したインクルーシブな開発」 (Community-based Inclusive Development: CBID)の概念とその応用例の紹介       5 . 発行年 2020年 (Community-based Inclusive Development: CBID)の概念とその応用例の紹介         3 . 雑誌名 医学教育       6 . 最初と最後の頁 669 - 677         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし       重読の有無 無         オープンアクセス       国際共著         1 . 著者名 I wakuma, M., Miyamoto, K., & Murata, J.       4 . 巻 67         2 . 論文標題 Changes in perceptions of Japanese university students toward disability: A mixed methods study.       5 . 発行年 2021年 2021年 2021年         3 . 雑誌名 International Journal of Disability, Development & Education       6 . 最初と最後の頁 1-13         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/1034912X.2020.1865521       査読の有無 有         オープンアクセス       国際共著		
オープンアクセスとしている(また、その予定である)   該当する	4. U	i ii
オープンアクセスとしている(また、その予定である)   該当する		
1 . 著者名 上野悦子・岩隈美穂       4 . 巻 51         2 . 論文標題 地域共生社会の人材育成とSDH教育に活用可能な「地域に根差したインクルーシブな開発」 (Community-based Inclusive Development: CBID)の概念とその応用例の紹介       5 . 発行年 2020年         3 . 雑誌名 医学教育       6 . 最初と最後の頁 669 - 677         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし       重読の有無 無         オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難       1 . 巻 67         1 . 著者名 I wakuma, M., Miyamoto, K., & Murata, J.       4 . 巻 67         2 . 論文標題 Changes in perceptions of Japanese university students toward disability: A mixed methods study.       5 . 発行年 2021年         3 . 雜誌名 International Journal of Disability, Development & Education       6 . 最初と最後の頁 1-13         掲載額文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) 10.1080/1034912X.2020.1865521       査読の有無 有         オープンアクセス       国際共著	オープンアクセス	国際共著
1 . 著者名 上野悦子・岩隈美穂       4 . 巻 51         2 . 論文標題 地域共生社会の人材育成とSDH教育に活用可能な「地域に根差したインクルーシブな開発」 (Community-based Inclusive Development: CBID)の概念とその応用例の紹介       5 . 発行年 2020年         3 . 雑誌名 医学教育       6 . 最初と最後の頁 669 - 677         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし       重読の有無 無         オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難       1 . 巻 67         1 . 著者名 I wakuma, M., Miyamoto, K., & Murata, J.       4 . 巻 67         2 . 論文標題 Changes in perceptions of Japanese university students toward disability: A mixed methods study.       5 . 発行年 2021年         3 . 雜誌名 International Journal of Disability, Development & Education       6 . 最初と最後の頁 1-13         掲載額文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) 10.1080/1034912X.2020.1865521       査読の有無 有         オープンアクセス       国際共著	オープンアクセスとしている(また、その予定である)	該当する
上野悦子・岩隈美穂		
上野悦子・岩隈美穂	4 ****	1 4 <del>Y'</del>
2 . 論文標題       5 . 発行年         地域共生社会の人材育成とSDH教育に活用可能な「地域に根差したインクルーシブな開発」       5 . 飛行年         (Community-based Inclusive Development: CBID) の概念とその応用例の紹介       6 . 最初と最後の頁         3 . 雑誌名       医学教育         (基礎の見)       669 - 677         (基礎の見)       669 - 677         (基礎の見)       (日本の日無無         オープンアクセス       国際共著         1 . 養者名       「wakuma, M., Miyamoto, K., & Murata, J.       4 . 巻         (日本政権題)       (日本政権)       5 . 発行年         (日本の出場)       2021年       2021年         (日本のより)       1 . 13       3 . 雑誌名         (日本のより)       1 . 13       6 . 最初と最後の頁         (日本のより)       1 . 13       2 . 2 . 2 . 2 . 2 . 2 . 2 . 2 . 2 . 2 .		_
地域共生社会の人材育成とSDH教育に活用可能な「地域に根差したインクルーシブな開発」 (Community-based Inclusive Development: CBID)の概念とその応用例の紹介       6.最初と最後の頁 669-677         3.雑誌名 医学教育       6.最初と最後の頁 669-677         掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし       重際共著 -         オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難       4.巻 67         1.著者名 Iwakuma, M., Miyamoto, K., & Murata, J.       5.発行年 2021年         2.論文標題 Changes in perceptions of Japanese university students toward disability: A mixed methods study.       5.発行年 2021年         3.雑誌名 International Journal of Disability, Development & Education       6.最初と最後の頁 1-13         掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/1034912X.2020.1865521       査読の有無 有	上野悦子・岩隈美穂	51
地域共生社会の人材育成とSDH教育に活用可能な「地域に根差したインクルーシブな開発」 (Community-based Inclusive Development: CBID)の概念とその応用例の紹介       6.最初と最後の頁 669-677         3.雑誌名 医学教育       6.最初と最後の頁 669-677         掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし       重際共著 -         オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難       4.巻 67         1.著者名 Iwakuma, M., Miyamoto, K., & Murata, J.       5.発行年 2021年         2.論文標題 Changes in perceptions of Japanese university students toward disability: A mixed methods study.       5.発行年 2021年         3.雑誌名 International Journal of Disability, Development & Education       6.最初と最後の頁 1-13         掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/1034912X.2020.1865521       査読の有無 有		
地域共生社会の人材育成とSDH教育に活用可能な「地域に根差したインクルーシブな開発」 (Community-based Inclusive Development: CBID)の概念とその応用例の紹介       6.最初と最後の頁 669-677         3.雑誌名 医学教育       6.最初と最後の頁 669-677         掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし       重際共著 -         オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難       4.巻 67         1.著者名 Iwakuma, M., Miyamoto, K., & Murata, J.       5.発行年 2021年         2.論文標題 Changes in perceptions of Japanese university students toward disability: A mixed methods study.       5.発行年 2021年         3.雑誌名 International Journal of Disability, Development & Education       6.最初と最後の頁 1-13         掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/1034912X.2020.1865521       査読の有無 有	2 論文種類	5 発行在
(Community-based Inclusive Development: CBID)の概念とその応用例の紹介 3.雑誌名 医学教育 669-677  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オーブンアクセス オーブンアクセスではない、又はオーブンアクセスが困難 1.著者名 Iwakuma, M., Miyamoto, K., & Murata, J. 2.論文標題 Changes in perceptions of Japanese university students toward disability: A mixed methods study. 3.雑誌名 International Journal of Disability, Development & Education  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/1034912X.2020.1865521 有 オーブンアクセス 国際共著		
3 . 雑誌名 医学教育	地域サルなみの人な方式とSNI教育に活用可能な「地域に担美したノンクリーシブな問題	1 2020年
医学教育   669 - 677     1		2020年
医学教育   669 - 677     1		·
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 I wakuma, M., Miyamoto, K., & Murata, J.  2 . 論文標題 Changes in perceptions of Japanese university students toward disability: A mixed methods study.  3 . 雑誌名 International Journal of Disability, Development & Education  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/1034912X.2020.1865521  富読の有無 有 オープンアクセス 国際共著	(Community-based Inclusive Development:CBID)の概念とその応用例の紹介	·
無 カープンアクセス 国際共著 - コープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 1 . 著者名   wakuma, M., Miyamoto, K., & Murata, J. 4 . 巻 67	(Community-based Inclusive Development:CBID)の概念とその応用例の紹介 3.雑誌名	6.最初と最後の頁
無 カープンアクセス 国際共著 - コープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 1 . 著者名   wakuma, M., Miyamoto, K., & Murata, J. 4 . 巻 67	(Community-based Inclusive Development:CBID)の概念とその応用例の紹介 3.雑誌名	6.最初と最後の頁
無 カープンアクセス 国際共著 - コープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 1 . 著者名   wakuma, M., Miyamoto, K., & Murata, J. 4 . 巻 67	(Community-based Inclusive Development:CBID)の概念とその応用例の紹介 3.雑誌名	6.最初と最後の頁
無 カープンアクセス 国際共著 - コープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 1 . 著者名   wakuma, M., Miyamoto, K., & Murata, J. 4 . 巻 67	(Community-based Inclusive Development:CBID)の概念とその応用例の紹介 3.雑誌名 医学教育	6 . 最初と最後の頁 669 - 677
オープンアクセス	(Community-based Inclusive Development:CBID)の概念とその応用例の紹介 3.雑誌名	6 . 最初と最後の頁 669 - 677
### A - プンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	(Community-based Inclusive Development: CBID)の概念とその応用例の紹介 3.雑誌名 医学教育 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	6 . 最初と最後の頁 669 - 677 査読の有無
### A - プンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	(Community-based Inclusive Development: CBID)の概念とその応用例の紹介 3.雑誌名 医学教育 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	6 . 最初と最後の頁 669 - 677 査読の有無
1 . 著者名 Iwakuma, M., Miyamoto, K., & Murata, J.  2 . 論文標題 Changes in perceptions of Japanese university students toward disability: A mixed methods study.  3 . 雑誌名 International Journal of Disability, Development & Education  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/1034912X.2020.1865521  有  オープンアクセス  国際共著	(Community-based Inclusive Development: CBID)の概念とその応用例の紹介 3.雑誌名 医学教育 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし	6 . 最初と最後の頁 669 - 677 査読の有無 無
1 . 著者名 Iwakuma, M., Miyamoto, K., & Murata, J.  2 . 論文標題 Changes in perceptions of Japanese university students toward disability: A mixed methods study.  3 . 雑誌名 International Journal of Disability, Development & Education  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/1034912X.2020.1865521  有  オープンアクセス  国際共著	(Community-based Inclusive Development: CBID)の概念とその応用例の紹介 3.雑誌名 医学教育 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス	6 . 最初と最後の頁 669 - 677 査読の有無 無
Iwakuma, M., Miyamoto, K., & Murata, J.672. 論文標題 Changes in perceptions of Japanese university students toward disability: A mixed methods study.5.発行年 2021年3. 雑誌名 International Journal of Disability, Development & Education6.最初と最後の頁 1-13掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/1034912X.2020.1865521査読の有無 有オープンアクセス国際共著	(Community-based Inclusive Development: CBID)の概念とその応用例の紹介 3.雑誌名 医学教育 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス	6 . 最初と最後の頁 669 - 677 査読の有無 無
Iwakuma, M., Miyamoto, K., & Murata, J.672. 論文標題 Changes in perceptions of Japanese university students toward disability: A mixed methods study.5.発行年 2021年3. 雑誌名 International Journal of Disability, Development & Education6.最初と最後の頁 1-13掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/1034912X.2020.1865521査読の有無 有オープンアクセス国際共著	(Community-based Inclusive Development: CBID)の概念とその応用例の紹介 3.雑誌名 医学教育 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス	6 . 最初と最後の頁 669 - 677 査読の有無 無
2.論文標題 Changes in perceptions of Japanese university students toward disability: A mixed methods study.  3.雑誌名 International Journal of Disability, Development & Education  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/1034912X.2020.1865521  有  国際共著	(Community-based Inclusive Development: CBID)の概念とその応用例の紹介 3.雑誌名 医学教育 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	6 . 最初と最後の頁 669 - 677 査読の有無 無 国際共著
Changes in perceptions of Japanese university students toward disability: A mixed methods study.  3.雑誌名 International Journal of Disability, Development & Education  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/1034912X.2020.1865521  有  国際共著	(Community-based Inclusive Development: CBID)の概念とその応用例の紹介 3.雑誌名 医学教育 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名	6 . 最初と最後の頁 669 - 677 査読の有無 無 国際共著
Changes in perceptions of Japanese university students toward disability: A mixed methods study.  3.雑誌名 International Journal of Disability, Development & Education  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/1034912X.2020.1865521  有  国際共著	(Community-based Inclusive Development: CBID)の概念とその応用例の紹介  3.雑誌名 医学教育  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名	6 . 最初と最後の頁 669 - 677 査読の有無 無 国際共著
Changes in perceptions of Japanese university students toward disability: A mixed methods study.  3.雑誌名 International Journal of Disability, Development & Education  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/1034912X.2020.1865521  有  国際共著	(Community-based Inclusive Development: CBID)の概念とその応用例の紹介 3.雑誌名 医学教育 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名	6 . 最初と最後の頁 669 - 677 査読の有無 無 国際共著
study.3.雑誌名 International Journal of Disability, Development & Education6.最初と最後の頁 1-13掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/1034912X.2020.1865521査読の有無 有オープンアクセス国際共著	(Community-based Inclusive Development: CBID)の概念とその応用例の紹介  3.雑誌名 医学教育  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 Iwakuma, M., Miyamoto, K., & Murata, J.	6 . 最初と最後の頁 669 - 677 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 67
3.雑誌名 International Journal of Disability, Development & Education       6.最初と最後の頁 1-13         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/1034912X.2020.1865521       査読の有無 有         オープンアクセス       国際共著	(Community-based Inclusive Development: CBID)の概念とその応用例の紹介  3.雑誌名 医学教育  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 Iwakuma, M., Miyamoto, K., & Murata, J.  2.論文標題	6.最初と最後の頁 669-677 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 67
International Journal of Disability, Development & Education 1-13 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無 10.1080/1034912X.2020.1865521 有	(Community-based Inclusive Development: CBID)の概念とその応用例の紹介  3.雑誌名 医学教育  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 Iwakuma, M., Miyamoto, K., & Murata, J.  2.論文標題 Changes in perceptions of Japanese university students toward disability: A mixed methods	6.最初と最後の頁 669-677 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 67
International Journal of Disability, Development & Education 1-13 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無 10.1080/1034912X.2020.1865521 有	(Community-based Inclusive Development: CBID)の概念とその応用例の紹介  3.雑誌名 医学教育  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 Iwakuma, M., Miyamoto, K., & Murata, J.  2.論文標題 Changes in perceptions of Japanese university students toward disability: A mixed methods study.	6.最初と最後の頁 669 - 677 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 67 5.発行年 2021年
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/1034912X.2020.1865521	(Community-based Inclusive Development: CBID)の概念とその応用例の紹介  3.雑誌名 医学教育  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 Iwakuma, M., Miyamoto, K., & Murata, J.  2.論文標題 Changes in perceptions of Japanese university students toward disability: A mixed methods study.	6.最初と最後の頁 669 - 677 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 67 5.発行年 2021年
10.1080/1034912X.2020.1865521       有         オープンアクセス       国際共著	(Community-based Inclusive Development: CBID)の概念とその応用例の紹介 3.雑誌名 医学教育 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 Iwakuma, M., Miyamoto, K., & Murata, J.  2.論文標題 Changes in perceptions of Japanese university students toward disability: A mixed methods study.  3.雑誌名	6 . 最初と最後の頁 669 - 677 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 67 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁
10.1080/1034912X.2020.1865521       有         オープンアクセス       国際共著	(Community-based Inclusive Development: CBID)の概念とその応用例の紹介 3.雑誌名 医学教育 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 Iwakuma, M., Miyamoto, K., & Murata, J.  2.論文標題 Changes in perceptions of Japanese university students toward disability: A mixed methods study. 3.雑誌名	6 . 最初と最後の頁 669 - 677 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 67 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁
10.1080/1034912X.2020.1865521       有         オープンアクセス       国際共著	(Community-based Inclusive Development: CBID)の概念とその応用例の紹介 3.雑誌名 医学教育  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 Iwakuma, M., Miyamoto, K., & Murata, J.  2.論文標題 Changes in perceptions of Japanese university students toward disability: A mixed methods study.  3.雑誌名	6 . 最初と最後の頁 669 - 677 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 67 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁
10.1080/1034912X.2020.1865521       有         オープンアクセス       国際共著	(Community-based Inclusive Development: CBID)の概念とその応用例の紹介  3.雑誌名 医学教育  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオーブンアクセスが困難  1.著者名 Iwakuma, M., Miyamoto, K., & Murata, J.  2.論文標題 Changes in perceptions of Japanese university students toward disability: A mixed methods study.  3.雑誌名 International Journal of Disability, Development & Education	6.最初と最後の頁 669 - 677 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 67 5.発行年 2021年 6.最初と最後の頁 1-13
オープンアクセス 国際共著	(Community-based Inclusive Development: CBID)の概念とその応用例の紹介  3.雑誌名 医学教育  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオーブンアクセスが困難  1.著者名 Iwakuma, M., Miyamoto, K., & Murata, J.  2.論文標題 Changes in perceptions of Japanese university students toward disability: A mixed methods study.  3.雑誌名 International Journal of Disability, Development & Education	6.最初と最後の頁 669 - 677 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 67 5.発行年 2021年 6.最初と最後の頁 1-13
	(Community-based Inclusive Development: CBID)の概念とその応用例の紹介 3.雑誌名 医学教育  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 Iwakuma, M., Miyamoto, K., & Murata, J.  2.論文標題 Changes in perceptions of Japanese university students toward disability: A mixed methods study.  3.雑誌名 International Journal of Disability, Development & Education	6.最初と最後の頁 669 - 677 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 67 5.発行年 2021年 6.最初と最後の頁 1-13
	(Community-based Inclusive Development: CBID)の概念とその応用例の紹介  3.雑誌名 医学教育  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 Iwakuma, M., Miyamoto, K., & Murata, J.  2.論文標題 Changes in perceptions of Japanese university students toward disability: A mixed methods study.  3.雑誌名 International Journal of Disability, Development & Education  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	6.最初と最後の頁 669 - 677 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 67 5.発行年 2021年 6.最初と最後の頁 1-13
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが闲難	(Community-based Inclusive Development: CBID)の概念とその応用例の紹介 3.雑誌名 医学教育 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 Iwakuma, M., Miyamoto, K., & Murata, J.  2.論文標題 Changes in perceptions of Japanese university students toward disability: A mixed methods study.  3.雑誌名 International Journal of Disability, Development & Education  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/1034912X.2020.1865521	6.最初と最後の頁 669-677 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 67 5.発行年 2021年 6.最初と最後の頁 1-13
	(Community-based Inclusive Development: CBID)の概念とその応用例の紹介  3 . 雑誌名 医学教育  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Iwakuma, M., Miyamoto, K., & Murata, J.  2 . 論文標題 Changes in perceptions of Japanese university students toward disability: A mixed methods study.  3 . 雑誌名 International Journal of Disability, Development & Education  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/1034912X.2020.1865521  オープンアクセス	6.最初と最後の頁 669-677 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 67 5.発行年 2021年 6.最初と最後の頁 1-13

1.著者名 岩隈美穂	4.巻
2.論文標題 障害学・当事者研究から見た隠れたカリキュラムとIPE・IPW	5 . 発行年 2020年
3.雑誌名 保健医療福祉連携	6.最初と最後の頁 96 104
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著

〔学会発表〕 計20件(うち招待講演 8件/うち国際学会 3件)

1.発表者名

Iwakuma, Miho

2 . 発表標題

The association between socio-psychological influences and fecal incontinence among Japanese people with spinal cord injury.

3 . 学会等名

International Spinal Cord Society(国際学会)

4.発表年 2024年

- 1.発表者名 岩隈美穂
- 2 . 発表標題

「ピアのチカラ: 新しい協働・連携パートナーの可能性」

3 . 学会等名

第8回臨地実習協働運営交流会(招待講演)

4.発表年

2024年

1.発表者名

岩隈美穂

2 . 発表標題

「医療"専門家"としての当事者たち:専門知と実践知の融合を目指して」

3.学会等名

第3回日本メディカルコミュニケーション学会学術集会(招待講演)

4.発表年

2023年

1.発表者名 岩隈美穂
2 . 発表標題 「障害とともに年を取ること、年を取って障害とともにいきること」
3.学会等名 日本老年看護学会第28回学術集会教育講演(招待講演)
4 . 発表年 2023年
1.発表者名 岩隈美穂
2.発表標題 「脊損者の排泄について」
3 . 学会等名 全国脊髓損傷者連合会 第22回定時総会 福岡県大会
4 . 発表年 2023年
1.発表者名 岩隈美穂
2 . 発表標題 「障害当事者とのコミュニケーション:社会のリソースとしての実践知を生かす」
3 . 学会等名 コミュニケーション研究者会議(招待講演)
4 . 発表年 2023年
1.発表者名 岩隈美穂、大濱眞、加藤真介
2 . 発表標題 「脊損者の再生医療での改善希望と便失禁についての報告:アンケート調査による第1報」
3.学会等名 第58回日本脊髓障害医学会
4.発表年 2023年

1.発表者名 岩隈美穂、大濱眞、加藤真介
2.発表標題 「脊損者のアンケート回答手段と背景との関連についての報告:アンケート調査による第2報」
3.学会等名第58回日本脊髓障害医学会
4 . 発表年 2023年
1.発表者名 岩隈美穂,大濱眞,加藤真介
2.発表標題 脊髄損傷者の身体の悩みの内容と行政への期待についての報告:第一報.
3 . 学会等名 日本脊髄障害医学会
4.発表年 2022年
1.発表者名 岩隈美穂,大濱眞,加藤真介
2.発表標題 脊髄損傷者の身体の悩みと3つの時間軸との関連についての報告:第2報.
3.学会等名 日本脊髄障害医学会
4 . 発表年 2022年
1.発表者名 岩隈美穂,舟木友美
2 . 発表標題 発達障害者支援法から10年: 計量テキスト分析によるQ&Aサイトに投稿された発達障害に関する投稿内容の比較
3.学会等名 社会医学学会
4 . 発表年 2022年

1 - 発表者名	
ユーザー生成メディアにおける「除書」に関する情報探索研究 Yahoo知恵終投稿の計量テキスト分析  3 . 学会等名 第35回日本保健医療行動科学会学術大会  4 . 発表作 2021年  1 . 発表者名  若順英穂  3 . 学会等名 第12回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会(招待講演)  4 . 発表年 2021年  1 . 発表者名 第12回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会(招待講演)  4 . 発表年 2021年  1 . 発表者名  岩院美穂  2 . 発表機器	1.発表者名 岩隈美穂,舟木友美
コーザー生成メディアにおける「除害」に関する情報探索研究 Yahoo知恵袋投稿の計量テキスト分析      第 第 35回日本保健医療行動科学会学析大会      4 . 発表有     2021年      1 . 発表者名     若順英穂      2 . 発表機盟     (質) 文化コミュニケーションとしての障害      3 . 学会等名     第12回日本プライマリ・ケア連合学会学析大会(招待講演)      4 . 発表年     2021年      1 . 発表者名     岩限美穂      2 . 発表機器     口ミュニケーションととしての障害      3 . 学会等名     第12回日本プライマリ・ケア連合学会学析大会(招待講演)      4 . 発表有     岩限美穂      2 . 発表機器     口ミュニケーション学と障害学からみた発達障害学生修学と支援      3 . 学会等名     一般也因法人産業精神保健研究機構研究会(招待講演)      4 . 発表年     2019年      1 . 発表者名     1 packursa、地      2 . 発表機器     Patient Experience of Japanese people with Disabilities.      3 . 学会等名     1000KA ARR Conference 2019 (国際学会)      4 . 発表年      100KA ARR Conference 2019 (国際学会)      4 . 発表年	
第35回日本保健医療行動科学会学術大会         1 発表者名         吉隅美穂         2 発表標題 (異)文化コミュニケーションとしての障害         3 学会等名 第12回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会(招待講演)         4 発表年 2021年         1 発表者名 岩藻美穂         2 発表標題 コミュニケーション学と障害学からみた発達障害学生悸学と支援         3 子会等名 一般社団法人産業精神保健研究機構研究会(招待講演)         4 系表年 2019年         1 発表者名 Iteakuna, M.         2 発表機器 Patient Experience of Japanese people with Disabilities.         3 学会等名 WOMCA APR Conference 2019 (国際学会)         4 発表年	
<ul> <li>名限美穂 (異)文化コミュニケーションとしての障害 3 . 学会等名 第12回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会(招待講演) 4 . 発表有名 名院美穂 2 . 発表標題 コミュニケーション学と障害学からみた発達障害学生修学と支援 3 . 学会等名 一般社団法人産業精神保健研究機構研究会(招待講演) 4 . 発表有名 1 . 発表有名 1 . 発表有名 1 . 発表有名 1 . 発表有名 2 . 発表標題 Patient Experience of Japanese people with Disabilities.</li> <li>3 . 学会等名 NONCA APR Conference 2019 (国際学会) 4 . 発表有</li> </ul>	
3 . 学会等名 第12回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会(招待講演)     4 . 発表年 2021年     1 . 発表者名     吉隈美穂     2 . 発表標題     コミュニケーション学と障害学からみた発達障害学生修学と支援  3 . 学会等名     一般社団法人産業精神保健研究機構研究会(招待講演)     4 . 発表年 2019年     1 . 発表者名 I wakuna, M.  2 . 発表標題 Patient Experience of Japanese people with Disabilities.  3 . 学会等名     WOWCA APR Conference 2019 (国際学会)     4 . 発表年	
### ### ### ### ### ### ### ### ### ##	
2021年         1.発表者名         岩隈美穂         2.発表標題 一般社団法人産業精神保健研究機構研究会(招待講演)         4.発表年 2019年         1.発表者名 Iwakuma, M.         2.発表標題 Patient Experience of Japanese people with Disabilities.         3.学会等名 WONCA APR Conference 2019 (国際学会)         4.発表年	
名限美穂   2.発表標題 コミュニケーション学と障害学からみた発達障害学生修学と支援   3.学会等名 一般社団法人産業精神保健研究機構研究会(招待講演)   4.発表年 2019年   1.発表者名 I wakuma, M.   2.発表標題 Patient Experience of Japanese people with Disabilities.   3.学会等名 WONCA APR Conference 2019(国際学会)   4.発表年	
3. 学会等名 一般社団法人産業精神保健研究機構研究会(招待講演)         4. 発表年 2019年         1. 発表者名   Wakuma, M.         2. 発表標題 Patient Experience of Japanese people with Disabilities.         3. 学会等名 WONCA APR Conference 2019 (国際学会)         4. 発表年	
- 般社団法人産業精神保健研究機構研究会(招待講演)  4 . 発表年 2019年  1 . 発表者名 Iwakuma, M.  2 . 発表標題 Patient Experience of Japanese people with Disabilities.  3 . 学会等名 WONCA APR Conference 2019 (国際学会)  4 . 発表年	
2019年  1 . 発表者名 Iwakuma, M.  2 . 発表標題 Patient Experience of Japanese people with Disabilities.  3 . 学会等名 WONCA APR Conference 2019 (国際学会)  4 . 発表年	
I Wakuma, M.  2. 発表標題 Patient Experience of Japanese people with Disabilities.  3. 学会等名 WONCA APR Conference 2019 (国際学会)  4. 発表年	
Patient Experience of Japanese people with Disabilities.  3 . 学会等名 WONCA APR Conference 2019 (国際学会)  4 . 発表年	
WONCA APR Conference 2019 (国際学会) 4 . 発表年	
	WONCA APR Conference 2019 (国際学会)

1.発表者名 岩隈美穂
2 . 発表標題 障がい当事者は高齢化や高齢化研究についてどう考えているか、についての質的研究
3 . 学会等名 第10回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会
4 . 発表年 2019年
1.発表者名 岩隈美穂
2.発表標題 障害者の高齢化:ダイバーシティ&インクルージョン
3.学会等名 第一回日本ソーシャル・イノベーション学会(招待講演)
4 . 発表年 2018年
1.発表者名 岩隈美穂
2 . 発表標題 障害者の高齢化について:障害当事者に聞くAging in place
3 . 学会等名 第41回総合リハビリテーション研究大会(招待講演)
4 . 発表年 2018年
1.発表者名 岩隈美穂
2 . 発表標題 「障がい当事者は高齢化や高齢化研究についてどう考えているか、についての質的研究」
3 . 学会等名 第10回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会
4 . 発表年 2019年

1. 発表者名	
Miho Iwakuma	
2.発表標題	
Patient Experience of Japanese people with Disabilities	
2 4077	
3.学会等名	
WONCA 2019 (国際学会)	
4.発表年	
2019年	
·	
〔図書〕 計5件	
1.著者名	4 . 発行年
岩隈美穂(分担執筆)	2024年
2.出版社	5.総ページ数
これがた	3 . 総ペーク数 2
- 1700 / H/IM	_
3 . 書名	
よくわかるヘルスコミュニケーション (「ピアサポート」)	
1.著者名	4 . 発行年
岩隈美穂(分担執筆)	2024年
2 44/674	F 4分 6° こ***5
2 . 出版社 ミネルヴァ出版	5.総ページ数2
3 . 書名	
3 . 書名 よくわかるヘルスコミュニケーション (「障害者は障害を持つ人か」)	
よくわかるヘルスコミュニケーション(「障害者は障害を持つ人か」)	4 . 発行年
よくわかるヘルスコミュニケーション(「障害者は障害を持つ人か」)  1. 著者名	4.発行年 2024年
よくわかるヘルスコミュニケーション(「障害者は障害を持つ人か」)	4.発行年 2024年
よくわかるヘルスコミュニケーション(「障害者は障害を持つ人か」)  1. 著者名	
よくわかるヘルスコミュニケーション(「障害者は障害を持つ人か」)  1.著者名 岩隈美穂(分担執筆)	2024年
よくわかるヘルスコミュニケーション(「障害者は障害を持つ人か」)  1.著者名 岩隈美穂(分担執筆)  2.出版社	2024年 5 . 総ページ数
よくわかるヘルスコミュニケーション(「障害者は障害を持つ人か」)  1.著者名 岩隈美穂(分担執筆)	2024年
よくわかるヘルスコミュニケーション(「障害者は障害を持つ人か」)  1.著者名 岩隈美穂(分担執筆)  2.出版社	2024年 5 . 総ページ数
よくわかるヘルスコミュニケーション(「障害者は障害を持つ人か」)  1 . 著者名 岩隈美穂(分担執筆)  2 . 出版社 ミネルヴァ出版	2024年 5 . 総ページ数
よくわかるヘルスコミュニケーション(「障害者は障害を持つ人か」)         1 . 著者名 岩隈美穂(分担執筆)         2 . 出版社 ミネルヴァ出版         3 . 書名	2024年 5 . 総ページ数
よくわかるヘルスコミュニケーション(「障害者は障害を持つ人か」)  1 . 著者名 岩隈美穂(分担執筆)  2 . 出版社 ミネルヴァ出版	2024年 5 . 総ページ数
よくわかるヘルスコミュニケーション(「障害者は障害を持つ人か」)         1 . 著者名 岩隈美穂(分担執筆)         2 . 出版社 ミネルヴァ出版         3 . 書名	2024年 5 . 総ページ数
よくわかるヘルスコミュニケーション(「障害者は障害を持つ人か」)         1 . 著者名 岩隈美穂(分担執筆)         2 . 出版社 ミネルヴァ出版         3 . 書名	2024年 5 . 総ページ数
よくわかるヘルスコミュニケーション(「障害者は障害を持つ人か」)         1 . 著者名 岩隈美穂(分担執筆)         2 . 出版社 ミネルヴァ出版         3 . 書名	2024年 5 . 総ページ数

1.著者名 岩隈美穂(分担著者)		4 . 発行年 2019年
2.出版社 岩波書店		5.総ページ数 14
ベラルアーツ』	「障害」に関する三つの話. In 『知のスイッチ 「障害」が	
1.著者名 岩隈美穂(分担著者)		4 . 発行年 2019年
2.出版社 岩波書店		5.総ページ数 13
3 . 書名 『知のスイッチ 「障害」	からはじまるリベラルアーツ』	
〔産業財産権〕 〔その他〕		
京都大学医学研究科 医学コミュニク https://medcomm.jp/	ーション学 新着情報	
氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
7 . 科研費を使用して開催した国 (国際研究集会) 計0件 8 . 本研究に関連して実施した国		
共同研究相手国	相手方研究機関	